

館林市パブリックコメント募集結果報告書

募 集 案 件		館林市シティプロモーション推進方針（案）	
募 集 期 間		令和7年10月14日 ～ 令和7年11月7日	
募 集 結 果	提 出 者 数	3人	
	意 見 数	15件	
	提出方法内訳	郵 送 件・F A X 件・メール 件・直 接 3 件	
市の対応状況		①反 映 さ せ た 意 見 数： 0件 ②反映させられなかった意見数： 15件	
意見等の概要と市の考え方			
整理番号	意見等の概要		市の考え方
1	国スポにおける城沼での漕艇競技の実施のため、鶴生田川・加法師川の水質浄化が不可欠である。生活雑排水の汚れを緩和するため、各家庭にも協力してもらいたい。市民の手で水辺の環境を良くすることは、市民としての矜持や、まちへの愛着に結びつくと考える。		鶴生田川・加法師川の水質改善に向け、関係機関や団体、市民のかたと連携し、持続的な水辺の環境整備を図ってまいります。
2	鶴生田川に対する市民の親水感情醸成のため、本町のこども園前を階段状に改修して水に近づけるようにする、城沼入口の川幅の広い葦場を一部ビオトープ化し、自然観察のフィールドとして活用するなど、鶴生田川親水事業が必要なのではないか。		ご意見は参考とさせていただき、市民の方に愛着を持っていただけるよう、県と連携して鶴生田川の環境整備を図ってまいります。
3	「里沼」により、「強みと機会」を手に入れたが、同時に里沼を形成する表層水は県内で最も汚れが酷いという「弱みと脅威」もある。里沼の価値を裏付けるためには、弱みと脅威を払い		ご意見を参考にし、里沼の価値向上に向けた継続的な取組を進めてまいります。

	拭う行動が永続的になされなければならない。	
4	「SDGs 未来都市」や「歴史的風致維持向上計画」などの認定は、シティプロモーションの有効なツールではないか。国からの支援もあり、シビックプライドの形成にも寄与すると考える。	「SDGs 未来都市」、「歴史的風致維持向上計画」などの認定はシティプロモーションのツールの一つとなりうるものとして考え、ご意見は今後の参考とさせていただきます。
5	城下町の景観づくりにおいて、例えば市内の旧家屋を移築すると金額が高くなるが、更地に外観だけを再現すればレトロな街並み効果を発揮してくれるのではないか。	ご意見を参考とさせていただくと共に、歴史的街並み景観創出補助金制度などを活用しながら、統一感のある歴史的街並みの創出を推進してまいります。
6	館林市は自治体規模から見て寺社が多いと感じる。寺社は歴史遺産でもあり、ブラッシュアップして品揃えすれば観光資源として再利用の可能性があると考える。	ご意見のとおり、寺社は市の歴史文化を語る上で一つの資源となりうるものです。既に寺社と連携した事業を展開しておりますので、引き続き取り組んでまいります。
7	分福茶釜の茂林寺をブランディングしたためきブランドの幅を広げるのはどうか。	ご意見のとおり、分福茶釜のためきは市のイメージキャラクターとしても有効であるため、今後の参考とさせていただきます。
8	うどんがソウルフードと位置づけられているが、個人経営のうどん店などが減少している中で、うどん文化について立て直しを図らないとブランド要素の欠落となる。	ご意見は今後の参考とさせていただくと共に、関係機関及び関係団体と連携を取りながら、うどん文化の認知度向上を図ります。
9	市内の事業所で労働者への搾取や人権侵害などが行われていないか、外国人労働者を含めた働く人々の環境の整備維持が優先事項である。	企業への各種奨励金やセミナーなど、就労及び労働条件改善のための支援を図ってまいります。
10	行政は多くの情報を持ち、他自治体等の事例の蓄積もある。どれを使って本市におけるシビックプライドの形成に有効な施策を編み出すか、「未来はこうありたい」という実現可能なビジョンが重要である。	ご指摘のとおり、実現可能なまちづくりのビジョンを持つことは重要であると考えます。市が目指す将来像を明確にし、その実現のために他自治体の事例などを参考にしながら、戦略的なシティプロモーションを推進してまいります。

1 1	パブリックコメントの公募について、デジタル デバイドや市の郊外に住んでいる市民もいる ため、市庁舎だけでなく図書館や公民館に設置 した方がいいのではないか。	パブリックコメントについては窓口への直接 持参の他、ファクスでも受け付けしておりま す。ご意見いただいた図書館等の設置について は、関係課とも調整しながら検討させていただ きます。
1 2	アニメやメディアプロモーションを活用して、 館林の認知度を更に向上させてほしい。アニメ の聖地巡りの人々はまちの賑わいに貢献して いる。	引き続き市の魅力的なコンテンツを発信する と共に、様々な情報発信媒体の活用とメディア との連携により、市の魅力を伝え、認知度の向 上を図ってまいります。
1 3	豊富な水を蓄えた城沼を擁するつつじが岡公 園は、市民の癒しの場であり、他市にない特徴 で自慢できることである。	豊かな自然・歴史・文化を生かしたプロモーシ ョン強化の一環として、つつじが岡公園の魅力 を発信してまいります。
1 4	シティプロモーションは極めて重要な行政施 策である。	シティプロモーションは市の重要な行政施策 と捉え、行政・民間・市民で連携しながら推進 してまいります。
1 5	市内住宅街などに産業廃棄物の不法投棄が放 置されており、景観を損なうだけでなく市民の 郷土愛の低下、市のイメージ低下につながり、 プロモーション活動にマイナスの影響を与え ているため、現状と課題に明記すべきではない か。	産業廃棄物などの不適正な保管集積は、市の環 境、景観及びイメージにも影響を与える課題で あると認識しております。現状と課題には個別 の課題は明記しておりませんが、課題解決のた め、群馬県など関係機関と連携しながら引き続 き対策を講じてまいります。

素案修正概要

変 更 前	変 更 後	変 更 理 由
なし		

問い合わせ：実施担当課名 秘書課

電 話 番 号 0276-47-5101（直通）

F A X 番 号 0276-72-3297

E - m a i l koho@city.tatebayashi.gunma.jp